日立道路再検討プロジェクト

平成22年11月20日発行

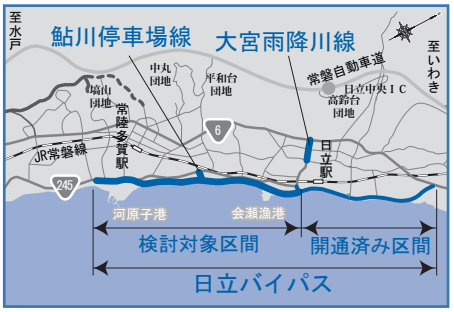
日立道路だより

第11号 最終号

発行：日立道路検討会ＰＩ実施事務局

日立バイパスを中心とした3路線の再検討の結果をとりまとめました

日立道路検討会では、日立市長からの要請を受け日立バイパスを中心とした3路線のあり方の見直しを進めてきました。これまでにオープンハウスやワークショップなどでみなさんからお聴きした期待や懸念などさまざまなご意見をふまえて、総合的に判断をおこない、3路線の再検討の結果を次のとおりとりまとめました。



日立道路再検討プロジェクトでは、次の3路線の検討を進めてきました。
- 日立バイパス（旭町～河原子町間）
- 大宮雨降川線（けやき通りより西側）
- 鮎川停車場線（国道 245 号より東側）

3路線の再検討の結果

◆ 日立バイパス ◆
『鮎川停車場線付近で国道 245 号に接続する案（C案）』を概略計画案とする計画の変更が望ましい

◆ 鮎川停車場線 ◆
日立バイパスにあわせた計画の変更が望ましい

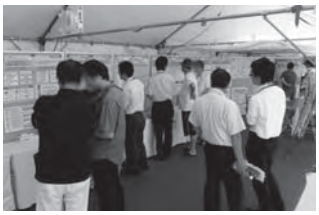
◆ 大宮雨降川線 ◆
現在の計画で進めることが望ましい

※詳しくは、2～3ページをご覧ください

この3路線の再検討の結果について、日立道路検討会より日立市長に報告しました。今後、都市計画の変更に向けた詳細な検討に進むことになります。

概略計画案の検討に、多くのみなさんからご意見をいただきました

平成 22 年 3 月 28 日に**第 6 回ワークショップ**を日立シビックセンターにて開催しました。また、平成 22 年 7 月 16 日～7 月 28 日に、「カスミ鮎川店」「会瀬交流センター」「河原子交流センター」「日立シビックセンター」の市内4会場で**第2回オープンハウス**を開催しました。オープンハウスでは、約 800 名の方にご来場いただき、約 500 名の方からさまざまなご意見をいただきました。
（※いただいたご意見は、6～7 ページをご覧ください）


■カスミ鮎川店
平成 22 年 7 月 16～17 日

■会瀬交流センター
平成 22 年 7 月 18～19 日

■河原子交流センター
平成 22 年 7 月 23～24 日

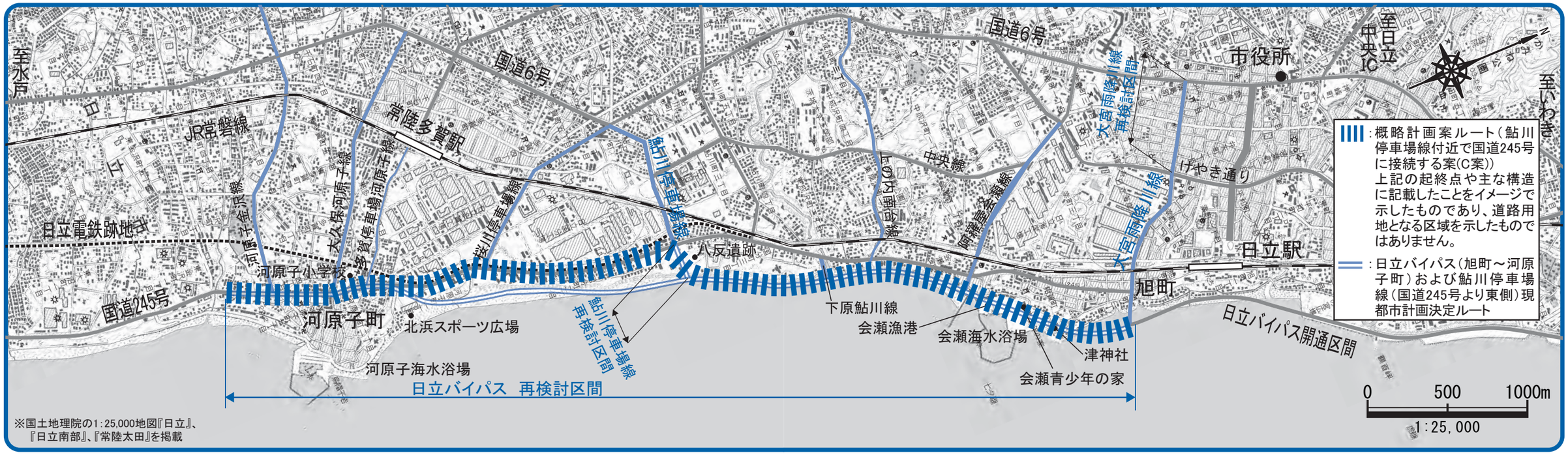
■日立シビックセンター
平成 22 年 7 月 25, 27～28 日

日立バイパスを中心とした3路線について　再検討の結果をとりまとめました

日立バイパスは『鮎川停車場線付近で国道245 号に接続する案（C案）』を概略計画案とする計画の変更が望ましいと考えました

■　日立バイパス　概略計画案　■

- 起　終　点：日立市旭町～日立市河原子町（概ねのルートは下図のとおり）
- 道路種別：一般国道
- 延　　長：約6km
- 車　線　数：４車線（片側2車線）
- 設計速度：60 ～ 80km/h
- 主な構造：旭町から鮎川停車場線付近までの区間は、海岸側を通り、高架橋や盛土構造とする。鮎川停車場線付近から河原子町までの区間は、陸側を通る平面構造とする。陸上区間は、日立電鉄跡地などを活用することを検討する。
- 連結する道路：河原子金沢線、大久保河原子線、多賀停車場河原子線、桜川停車場線、鮎川停車場線、下原鮎川線、上の内南台線、阿羅屋会瀬線、大宮雨降川線

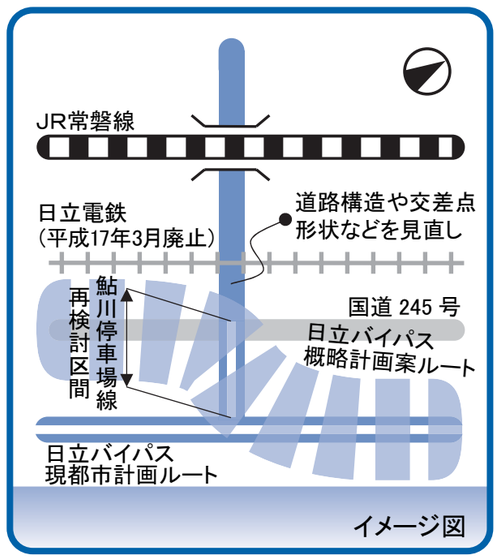


※国土地理院の1：25,000地図『日立』、『日立南部』、『常陸太田』を掲載

鮎川停車場線は日立バイパスにあわせた計画の変更が望ましいと考えました

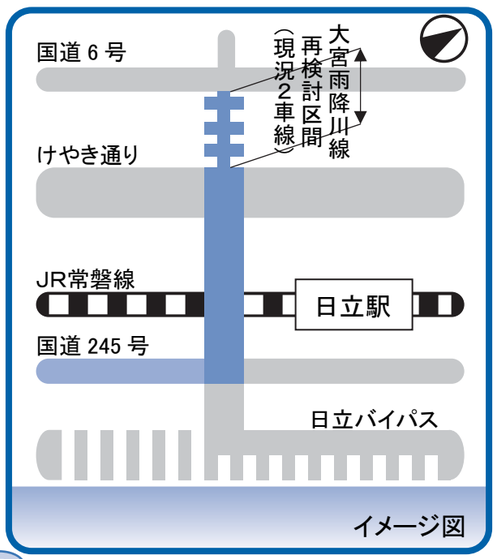
鮎川停車場線の再検討区間（国道245号より東側）は、日立バイパスを『鮎川停車場線付近で国道 245 号と接続する案（C案）』とすることをふまえて、計画を変更することが望ましいと考えました。

また、国道 245 号より西側の区間も再検討区間に合わせて、道路構造や交差点形状などを見直すことが望ましいと考えました。



大宮雨降川線は現在の計画で進めることが望ましいと考えました

大宮雨降川線は、国道６号と日立バイパスを結ぶ主要なアクセス道路であるとともに、国道245号としての広域的な道路および都市防災などの道路機能を有していることから、現在の計画で進めることが望ましいと考えました。



『鮎川停車場線付近で国道245号に接続する案(C案)』は、再検討の目的に対して総合的に貢献できる案であると考えました

これまで寄せられたみなさんからの意見をふまえるとともに、比較表(『日立道路だより第 10 号』2～3 ページ)をもとに総合的に判断し、次のように考えました。

旭町～鮎川停車場線間を海岸側ルートにすると、生活環境への影響が抑えられるうえ、用地取得が必要な区間が比較的短いため、整備期間が短縮できると考えられます

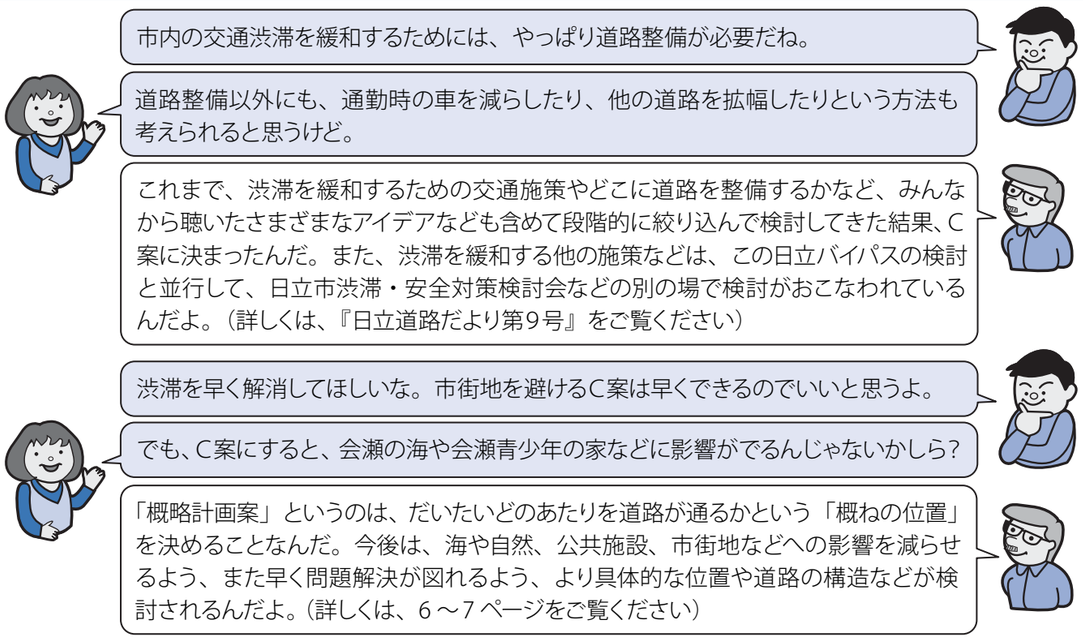
●陸側のルートとした場合は、家屋が比較的多く存在する国道 245 号沿道や日立バイパスの旭町以北との接続部で、生活環境への影響が比較的大きい。
●海岸側のルートであれば、陸側のルートに比べて生活環境への影響は比較的小さく、また、用地取得が必要な区間は比較的短いため整備期間が短縮できる。

国道 245 号の沿道の住宅
(会瀬町 1 丁目交差点付近)

鮎川停車場線～河原子町間を陸側ルートにすることで、事業費が抑えられるうえ、日立電鉄跡地を活用することで、効率的に整備が進められると考えられます

●陸側のルートであれば、事業費を抑えることができるうえ、日立電鉄跡地などを活用することで、効率的に投資ができ、早期に問題解決を図ることができる。
●陸側のルートであっても、沿道の家屋件数が比較的少なく、日立電鉄跡地があるため、生活環境への影響を小さくできる。
●陸側のルートの場合は、海や海岸の環境や、海の眺望などへの影響を回避できる。

日立電鉄跡地と国道 245 号
(国分町 2 丁目付近)



移動性、安全・安心、地域活力の向上への貢献も期待できます

■ 移動性

●南北方向の交通を日立バイパスが担い、国道6号や国道 245 号の渋滞が緩和される。
●鮎川停車場線～河原子町間では、日立市を通過する交通を受けもつバイパスとしての機能と、沿道地域への出入りのための機能が混在するが、沿道の建物が比較的少ない区間であるため、沿道からの交通は少なく機能が混在する影響は小さい。

■ 安全・安心

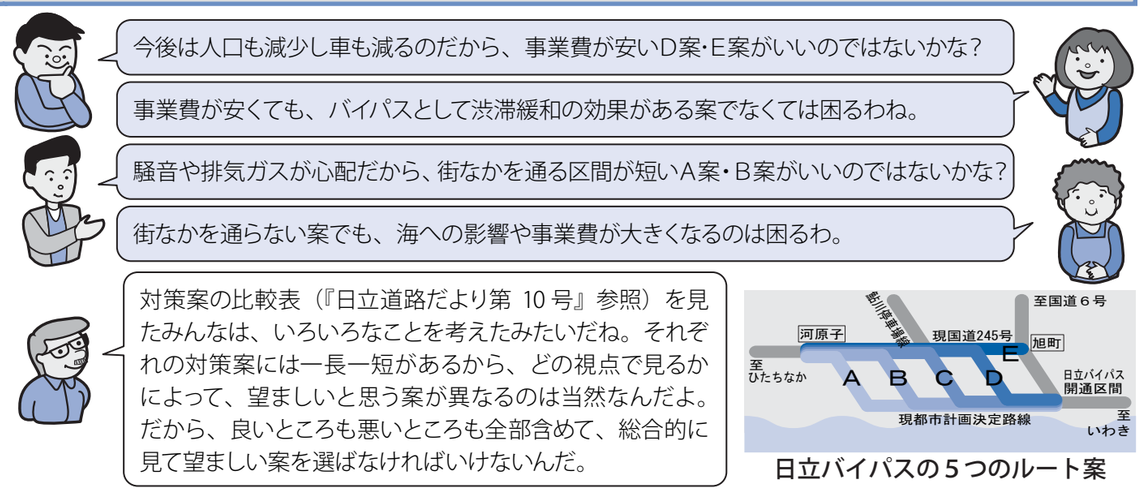
●中央線を走行する大型車が日立バイパスに転換し、中央線の安全性が向上する。
●日立バイパスが鮎川停車場線まで海岸側でつながることで、鮎川停車場線以北の区間で、国道6号、国道 245 号に加えて新たな代替路が形成され、安全性が向上する。

■ 地域活力

●大型車の走行に影響がおよぶような急な勾配が少なく、また、日立駅周辺の工場と日立港間の時間短縮が見込まれ、物流交通が円滑になる。
●観光地(河原子海水浴場)への利便性の向上により、観光客(海水浴客)の増加、地域の活性化が期待される。

河原子付近の海岸

※『日立道路だより第 10 号』4～5 ページ の内容を再掲しました



日立バイパスの５つのルート案

●C案はA案、B案よりも海岸側区間が短いため、海への影響や事業費の面で有利です。他の面での評価はほとんど変わりません。このため、C案の優位性はA案、B案よりも高いと考えられます。

●D案、E案は陸側区間が長いため、自然環境や事業費の面でC案よりも優位です。一方で、国道 245 号沿道市街地への影響の面や、沿道からの出入り交通やのぼり坂くだり坂が多いことによるバイパスとしての走行性の面で課題が残ります。一般的にバイパスは、自動車の流れを円滑にすることで、交通事故削減などによる安全・安心の向上、円滑な輸送や観光振興などによる地域活力の向上などを意図して計画されるものです。このため、C案の優位性は走行性が低くなる要素を抱えたD案、E案よりも高いと考えられます。

みなさんの期待や心配をもとに、今後検討が必要なことをまとめました

日立バイパスの計画に対して、みなさんから期待や心配など多くのご意見が寄せられました。そこで、みなさんのご意見をもとに、概略計画決定以降の段階でさらに検討が必要なことをまとめました。

みなさんの主なご意見 → **今後検討が必要なこと**

6号や245号など日立市内の渋滞が解消するといいわね

時間通りに素早く目的地に到着できるような道路網の整備が大切だね

人も自転車も車もみんなが安全に通行できる道路になるといいわね

バイパスによって騒音・振動や排気ガスなどの生活環境への影響が心配だなぁ

海岸や生き物などの自然環境に影響はないのかしら

台風の時走れなかったり、波で道路が壊れたりすると大変じゃ

道路自体を観光に活かして地域が活性化するといいわね

道路整備で漁業や商業にもよい影響がでるようにしてほしいね

地域のコミュニティ活動に影響がないようにしてほしいわ

海水浴場や磯場、青少年の家など地域の交流の場を残せる案になるといいね

(1) 日立バイパス(旭町～河原子町間)の検討

①高い走行性が確保され、沿道地域からも利用しやすい日立バイパスとなるように、道路構造、交差箇所、交差方法などについて検討します。

②大型貨物車などが日立バイパスを安全でスムーズに走行できるように、カーブやのぼりくだりの勾配の連続を避けるなど、道路の線形や構造などを検討します。

③自転車・歩行者が日立バイパスを安全、快適に通行できるように、道路の幅員構成や交差点での交通処理の方法などを検討します。

④日立バイパス整備による自然環境や生活環境、史跡、交流の場などへの影響に関しては、必要な調査をおこない、多大な影響が生じる可能性が高い場合には必要な対策などについて検討します。

⑤気象条件、経済性、耐久性、および維持管理のしやすさなどに配慮して、道路の構造を検討します。

⑥日立電鉄跡地の活用を想定している他の計画などとの調整を図りながら、跡地を有効に活用した道路の計画を検討します。

(2) 地域のまちづくりに関する検討

⑦道路の整備が地域の活性化に寄与するように、沿道の土地利用との整合性に配慮して、日立バイパスの計画を検討します。

⑧地域や道路の分断による影響が軽減されるように、関係機関と協力しながら、必要な対策を検討します。

⑨海浜や岩場・磯場、および地域施設など地域での活動の継続性に配慮して、必要な対応を検討します。

みなさんの主なご意見 → **今後検討が必要なこと**

建設費も維持管理費もなるべく安くなるようにいろんな工夫が必要ね

道路で影響を受ける人としっかり話をしたり、負担が軽減できるようにするべきじゃ

市内の渋滞を、とにかく早く解決することが一番だわ

今後も、情報を手に入れたり、意見を言ったりすることはできるのかな

大型車や通過交通が、生活道路ではなく幹線道路を通ってくれないと困るわ

周辺の交差点などで新たな渋滞が発生したりしないか心配だね

(3) 計画の進め方に関する検討

⑩建設費や維持管理費ができるだけ安価になるように計画を検討します。

⑪事業の必要性や費用対効果は、事業着手時や一定期間経過ごとの評価手続きの中で、最新の社会経済状況を考慮しながら検討します。

⑫用地補償については、現地測量や詳細な設計などの後に、個々の土地や建物などの状況などの調査をおこない、個別に協議します。

⑬都市計画での長期にわたる建築制限や渋滞をはじめ地域が抱える課題を考慮して、引き続き検討を進めます。

⑭計画に地域のみなさんのご意見が反映されるように、今後も適切に情報提供や意見把握を実施します。

(4) 交通分野全体の検討

⑮日立市内の交通問題に対しては、日立バイパスの整備だけで対応するのではなく、日立バイパス以外の道路整備や道路整備以外の施策も含めて総合的に対策が進められるように、関係機関と調整を図りながら検討を進めます。

※「みなさんの主なご意見」では、みなさんからいただいたご意見の主旨のうち一部のみ紹介しています。
全ての意見主旨は、ホームページ（http://www.hitachi-doro-project.jp/）でご覧いただけます。

今後のさまざまな段階で検討がおこなわれます

ぼくたちの意見はいつごろ、どんなタイミングで検討されるのかな?

道路を整備するまでには、道路の構造など、まだまだいろんな検討が必要なんだ。
みんなの意見には、今後のさまざまな段階で配慮されていくことになるんだよ。

構想段階
- 概略計画決定 ← 今はこの段階です

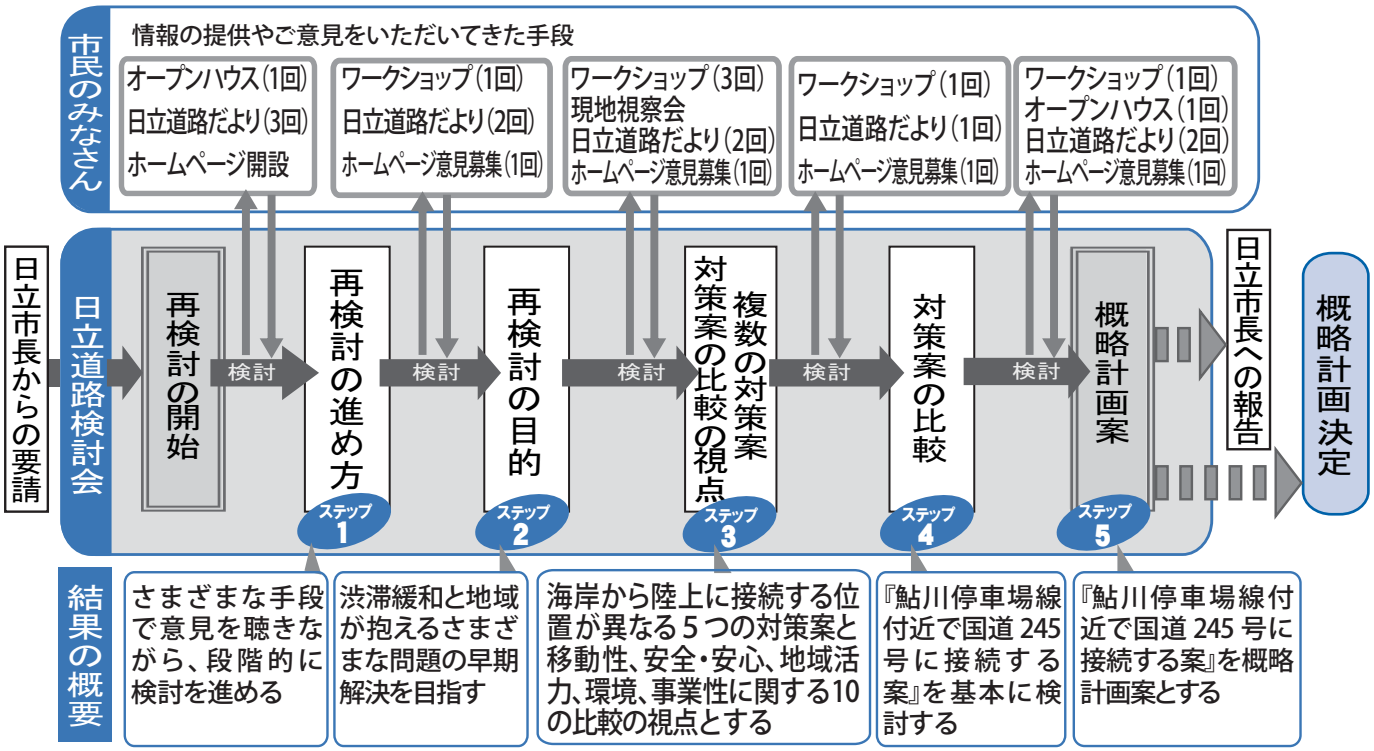
計画段階
- 都市計画決定：事業実施の前提となる計画（都市施設の都市計画等）として、具体的なルートの位置や道路構造を決定します。

- 事業着手
- 現地測量：関係者に説明をおこなった後、測量や地質調査などをおこないます。
- 詳細設計：測量・調査結果より道路の設計をおこなった後、設計図を基に関係者に具体的な説明をおこないます。
- 用地幅杭設置：道路に必要な範囲を用地幅杭で現地に示します。
- 用地買収：道路に必要な範囲を示して土地や建物の調査をおこなった後、関係者と用地補償を協議します。
- 工事：道路用地で道路の建設工事をおこないます。
- 供用開始

※上記は、道路事業の一般的な流れや検討する主な事項を示したものです。

みなさんのご意見をお聴きしながら段階的に検討してきました

日立道路再検討プロジェクトは、常にみなさんのご意見をお聴きしながら、段階ごとにご意見をふまえて検討を進め、各ステップの検討では次のような結果を得ました。



再検討にご参加いただき、ありがとうございました

日立道路再検討プロジェクトには多くのみなさんからご意見をいただきました。みなさんの検討へのご参加に感謝申し上げます。ありがとうございました。日立バイパスの概略計画案が確定したことから、日立道路再検討プロジェクトは終了となります。この3路線の再検討の結果について、日立道路検討会より日立市長に報告しました。

なお、今後もみなさんのご意見をお伺いしながら、都市計画手続きやさまざまな検討が進められる予定です。今後ともみなさんのご協力をお願いいたします。

【日立道路再検討プロジェクトホームページ】

http://www.hitachi-doro-project.jp/

※ホームページではこれまで発行した『日立道路だより』の全号などをご覧いただけます。

お問い合せは、下記の各所まで

受付時間 8:30 ～ 17:15　土・日・祝日を除く

日立市 都市建設部 幹線道路整備促進課
〒317-8601　日立市助川町1-1-1
TEL　：0294-22-3111
IP電話　：050-5528-5000
FAX　：0294-24-7296
電子メール：michi-iken@city.hitachi.lg.jp

茨城県 土木部 道路建設課
〒310-8555　水戸市笠原町978-6
TEL　：029-301-4438
FAX　：029-301-4449
電子メール：doken4@pref.ibaraki.lg.jp

国土交通省 常陸河川国道事務所 計画課
〒310-0851　水戸市千波町1962-2
TEL　：029-240-4067
FAX　：029-240-4085
電子メール：michitsukuri@ktr.mlit.go.jp

■これまでの広報誌の郵送をご希望の方は、いずれかの問い合わせ先までご連絡ください。各号を郵送させていただきます。